

一般質問

市の明日を考える!

6月定例会の一般質問は、6月13日から15日の3日間にわたり行われ、15人の議員により活発な議論が展開されました。

主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。

[発言順]

一般質問

佐藤 運喜

[市政刷新会議]



- ① 平成28年度小・中学校の学級編制等について
- ② 地域活性化、観光振興と農業振興の連携について

問

- ① ①現在、複式学級はどの程度あるのか。また、複式学級の均衡ある教育向上対策は。
②小中一貫教育を踏まえての小規模学校の統合計画は検討されているか。
- ② ①安達駅周辺の活性化で、駅舎内に高村智恵子の大型イラストや上川崎和紙等を展示し、観光PRはどうか。
②駅から智恵子の生家までの道路や周辺道路整備計画は。
③農業振興と観光の連携で市内各所に菊の花のプランター等を設置し、「菊のまち二本松」をPRしては。

答

- ① ①市内に4学級あり、各校に非常勤講師1名を配置、単式学年での授業で学力の向上を図っている。
②統合については、今後、地域要望等を踏まえ慎重に対応していく。
- ② ①駅舎内壁面を利用した観光PRは、おもてなしの心を大切に、関係機関の協力を得ながら進める。
②安達駅西地区整備計画策定の中で活性化も含め検討していく。
③連携策としてのPRは大変有意義であるが、農業関係団体と協議、相談を行い、今後検討していく。

一般質問

安齋 政保

[市政会]



- ① 除染について
- ② 道路整備について

問

- ① 仮置場の借地契約延長について
①地元、地主への説明スケジュールは。
②借地契約される仮置場の数は。
③延長にあたっての条件は。
④延長の期間、期限はどのようになるのか。
- ② 県道147号、松川・渋川線の拡幅が途中で止まっているが、市としてどのように考えているのか。

答

- ① ①今後、可能な限り、早い時期に方針等を確定し、行政区長、地権者に対して、条件等を提示しながら、協力をお願いする。
②全ての仮置場265カ所。
③借地料の見直しを含めた条件面の整備を行っていく。
④平成34年3月までの方向。
- ② 本道路は主要な県道で、国道4号や松川駅へ通じる通勤通学路として朝夕の交通量も多く交通安全上重要な課題と考えており県に対し拡幅改良工事の要望を行っている。

一般質問

小野利美

[市政刷新会議]



- ①子育て支援、待機児童解消対策について
- ②街路灯(防犯灯)設置について

問

- ①①入所選考条件について
- ②②今後の待機児童解消に向けての対応について



昨年10月に開園した「にほんまつ保育園」

- ②①設置優先順位について
- ②②今後の設置計画について

答

- ①①①父母の就労、世帯の状況等から保育の必要性を点数化し、施設毎に点数の高い順から入所決定する。
- ②②施設を整備し受け入れ枠を拡大することと、保育士を確保し今の施設利用児童を増やすことが考えられる。
- ②①①地域の要望箇所を現地調査し、通学路や防犯上必要な箇所を優先的に整備している。
- ②②②本年度以降、毎年70灯程度の設置を計画、新たな要望も含め今後5カ年計画で設置完了を目指す。

一般質問

菅野寿雄

[市政会]



- ①安達ヶ原ふるさと村公園整備基本構想について
- ②二本松市東部学校給食センター運営について

問

- ①①阿武隈川の生態系を一覧できる展示室(水族館)の設置を構想に加えてはどうか。

- ②②安達ヶ原ふるさと村周遊サイクリングロード建設を構想に加えてはどうか。

- ②①①食材納品に関して二本松市公設市場の利用実績が「0」であることについてどう考えているのか。
- ②②②このような実態は抜本的に改善すべきではないか。

答

- ①①①学習の場や新たな見どころとして期待できるが、維持管理や費用面では市単独事業とするには課題が多い。国・県と協議し検討する。
- ②②同公園が各種イベントの開催地として多くの方々にご利用していただける施設となるよう、今後の基本計画の中で検討していく。
- ②①①納品組合に対して公設市場の利用を働きかけてきたが、利用実績がなかったことは大変残念である。
- ②②②引き続き公設卸売市場の積極的利用を働きかけていく考えである。

一般質問

石井馨

[あぶくま会]



- ①防災対策について
- ②教育について

問

- ①①災害時の避難所の箇所数、収容人数は十分か。

- ②②熊本地震をふまえ、本庁及び避難所が使用できない場合の対処は。
- ③③備蓄されている水・食料の管理は。

- ②①①今年度から制度化された小中一貫教育に取り組む考えは。
- ②②②現在文科省で導入への検討が加えられているデジタル教科書導入についての考えは。

答

- ①①①収容人数は一人当たり2.5㎡として算定すると、47カ所に17,133人収容可能で規模は満たしている。
- ②②本庁被災時は使用可能な支所、避難所は旅館・ホテルを借上げる。
- ③③水500mlで25,700本、アルファ米22,700食を備蓄。賞味期限内に有効活用を図っていく。
- ②①①現在制度導入の考えはない。小中学校の連携強化を推進していく。
- ②②②教師用として導入している。資料等の拡大提示等、多様な機能を使いながら有効に活用されている。

一般質問

加藤 建也

[市政刷新会議]



- ①消費相談窓口の運営、対応状況について
- ②これからの観光、誘客と観光危機管理基本計画について

問

- ①①窓口の対応は週何日で、何時から何時までで、何人体制で対応か。
- ②25年度、26年度、27年度の相談件数は。
- ③国の方針として消費生活センターを設置し、独自の相談員を育てる仕組みになっているが本市の考えは。
- ②本市の観光危機管理基本計画、実行計画を策定する考えはあるのか。

答

- ①①毎週火曜日・金曜日の午前9時から3時までで、相談員は1人体制。
- ②25年度が37件、26年度27件、27年度は43件となっている。
- ③当面は現行の方式による体制を継続し、センター設置は相談件数の推移も注視し、検討課題とする。
- ②全国的にみて策定の動きは顕著ではない。国内外から観光誘客推進を図っている本市において観光客を守る対策は重要であると考え。まずは地域防災計画の中で対応可能であるか協議調整を行っていく。

一般質問

平塚 與志一

[真誠会]



- ①農振除外と長命地区工業団地について
- ②中心市街地活性化、大手門整備状況について

問

- ①東日本大震災後、安達地区で32ha農振除外された結果は。また、杉田地区に計画されている長命工業団地について、平成31年に販売できるようにするとのことだが、1年半位前倒しすることはできないか。
- ②大手門整備及び本町通り活性化整備構想について、現在は進んでいないように思えるがどのようになっているか。霞ヶ城公園に計画されている歴史資料館建設より大手門整備が先ではないか。

答

- ①平成24年6月より地区説明会を14回開催しており、除外許可年月日は平成25年5月8日である。長命工業団地の農振除外については、県・国とこれから相談し、なるべく前倒しして早く完成するよう努力する。
- ②文化庁との協議が具体的に進んでいないのが現状である。平成28年度に「二本松城跡内整備基本構想」を策定する。引き続き関係部署が連携し、調査・協議・検討を進めていきたいと考えているので、ご理解をいただきたい。

一般質問

小林 均

[公明党]



- ①クラウドファンディングの利用について
- ②食品ロス削減に向けての取り組みについて

問

- ①①インターネットを通じ、市内外から資金の提供や協力を求めるクラウドファンディングの導入を図り、二本松ファンを作るべきでは。
- ②市民の応援をしたい活動の広報を市が担い、資金調達を側面から支援することも重要と考えるが。
- ②①給食や食育・環境教育等を通じ、食品ロス削減の啓発をすべきでは。
- ②市の食品ロス削減への取り組みは。
- ③災害備蓄食品の有効活用の観点から賞味期限前にフードバンク等への寄付等を検討してはどうか。

答

- ①①今後の本市での事業展開で、大きな可能性があり、ファン拡大の効果も踏まえ、新規施策への活用が図れないか検討を進めたい。
- ②市が直接財政支援を行わず、結果として地域内の活性化につながる非常に有効な手段である。
- ②①給食時の指導や給食日より等の配布物を利用した啓発を行い、授業の中でも意識向上に努めている。
- ②広報活動を通じ意識啓発に当る。
- ③賞味期限前の市内での有効活用とフードバンク活用も検討したい。

一般質問

熊田 義春

[市政会]



- ①生活保護受給について
(65歳以上の高齢者)
- ②汚染土壌等減容化対策について

問

- ①本市の世帯区分ごとの生活保護受給状況、生活保護受給者の人数は。(平成28年4月1日現在)
- ②生活扶助費の金額と65歳以上の男女の割合は。(平成28年4月1日現在)
- ③今後の仮置場保管年数について国から説明があったのか。

答

- ①高齢者世帯138、母子世帯12、傷病・障がい者世帯85、その他66、合計301世帯、426人。このうち高齢者は142人で、単身世帯127世帯、複数世帯11世帯である。
- ②4月の総額は23,844,344円で、うち高齢者世帯は15,676,033円。65歳以上の男女の割合は男19.6%、女23.5%となっている。
- ③平成32年度が保管年数の目安になり、その後の復旧作業等も考慮にのけての借地期限の延長をお願いしたいと考えている。

一般質問

平 敏子

[日本共産党二本松市議団]



- ①子ども子育て支援新制度について
- ②介護保険総合事業について

問

- ①子ども子育て支援新制度の実施状況について
- ①認定要件は。
- ②利用調整はどのように行っているのか。
- ③保育時間の設定は。
- ④保育料は。
- ⑤総合事業移行への進捗状況は。

答

- ①就労時間は一月64時間以上。
- ②定員を超える場合、世帯の状況、就労状況などで点数をつけ、高い順から入所決定する。
- ③働き方で1日8時間の短時間、11時間の標準時間の2つの区分。
- ④認定を受けた子どもは公立私立の区別なく同額となった。
- ⑤今年度中の移行を検討している。今後、移行のための実施要綱の整備、県国保連合会との協議、関係機関・市民への説明会開催、予算の組み換え等の準備を進めていきたい。

一般質問

本多 俊昭

[真誠会]



- ①高齢福祉社会の対応策について
- ②婦人会、老人クラブ等地域団体に対する運営指導について

問

- ①高齢者、障がい者世帯等の家庭ごみの収集支援について
- ②市連合会への加入団体数と人数の推移について、合併時と現在の状況は。また、団体等に対する本市の今後の運営指導・支援等について

答

- ①高齢者対象の福祉事業として特化したものはない。障がい者世帯の収集は、家族、近隣住民の協力を得られない方については、サービス事業所が生活全般にわたり行っている。
- ②老人クラブは合併時95団体7,297名、現在77団体3,918名。婦人会は合併時15団体2,308名、現在14団体1,653名。文化団体は224団体3,921名、現在161団体2,457名。各種団体は自主的な運営が基本。補助金の交付、助言等を協力的に行い、運営の支援を継続していく。

一般質問

佐藤 源 市

[あぶくま会]



- ① 東京五輪カヌー競技場誘致によるスポーツ振興について
- ② 観光地周辺における整備体制について

問

- ① ①東京五輪のカヌー競技場及びトレーニング施設の誘致について
- ②カヌー選手の育成強化策は。
- ② 他の地区では先行土地取得して整備しているが、中島の地蔵桜周辺等、東和地内の道路・駐車場整備はなぜできないのか伺う。



多くの人で賑わう中島の地蔵桜

答

- ① ①東京五輪のカヌー会場としてはすでに会場予定地が決定され、誘致は困難な状況。事前トレーニングキャンプ誘致等、関係機関と連携し誘致活動していきたい。
- ②強化合宿、大会派遣、各種教室開催等により選手・指導者育成を図る。
- ② 交通量が増加する状況にあり、通行車両の状況を把握しながら必要な維持管理を行っていく。駐車場については必要な砕石や山砂の支給等、鋭意検討し対応していく。県道交差点改良は、県へ強く要望する。

一般質問

菅野 明

[日本共産党二本松市議団]



- ① 市内保育所等の職員配置について
- ② 岩代地区の学校施設の整備充実について

問

- ① 子ども達の中には食物アレルギーの子もおり、調理員は食事作りに大切な役割を果たしている。職員の人事異動等では、特別メニューの子どもの給食提供に支障がないよう、給食調理員も計画的に正職員を配置すべきと考えるが。
- ② 地区内の児童生徒数の減少が予測されるが、未来を担う子ども達が良い環境で学ぶことができる、との原点を踏まえ、市民とのコンセンサスを大事に教育環境の整備等を具体的にどう考えているか。

答

- ① 定員管理計画は現業職員である調理員は退職でも不補充とし、今後外部委託を進めていく。一方、食育やアレルギー対策も重要で、今後外部委託の検討と併せ、公立保育所給食を一元管理する管理栄養士等の配置について検討する。
- ② 市全体で児童生徒の自然減で一部の学校を除き小・中学校が小規模になっている。今後どんな教育環境の整備が適正なのか、地域等からの意見等を踏まえるとともに、総合教育会議で話し合っていく。

一般質問

高橋 正 弘

[あぶくま会]



- ① 市道等の整備について
- ② 小学校跡地利用について

問

- ① ①国・県道、主要市道から集落数軒の市道まで整備が急がれる。合併後整備された路線数、延長距離数は。また、市道若林線の整備計画は。
- ② 市内の廃校となった小学校校舎等の現在の状況と、利活用はどうするのか。

答

- ① 合併後の整備路線数は68、距離数は26kmである。若林線の整備計画は、現地の交通量、緊急性・優先度からも整備計画がない。交通に支障が生じた場合は、修繕等に対応する。
- ② 市内の廃校となった小学校等は10校あり、3カ所が浪江町の代替施設、4カ所が地元NPO法人の作業施設や市の災害対策本部物資保管などに、他は東和ロードレース等の物資保管に利用。29年度から利用状況に応じ順次解体に着手する。

齋藤 広二

[日本共産党二本松市議団]



① 国民健康保険について

問

- ① ① 二本松市の国保税負担率は全国平均の1.5倍。社会保険の2～2.8倍。平成30年から国保の県一本化に向け「国保税負担の重さ」をどう反映させるのか。
- ② 国が負担軽減のために交付する予算(約9,700万円)が減額になったのは。
- ③ 応能(所得割)応益(世帯・人数)割合を55対45にした場合の税率は。
- ④ 子ども1人当たり22,000円の税額が賦課される。軽減策は。

答

- ① ① 県と市町村との協議が進められ、平成29年には国保運営方針が決定される。事務の効率化によって保険税負担の軽減につながると考えている。
- ② 要件の変更により27年は約3,000万円。28年はさらに減額となり、税率アップにつながる。
- ③ 世帯応益割が5,900円安い。
- ④ 子ども世帯で短期保険証・資格証明書(全額窓口負担)が30世帯。子どもの数は1,119人。軽減措置は考えていない。

ご存じですか ～請願のしかた～

市民のみなさんに限らず、どなたでも市政への要望や意見などを請願書として議会に提出することができます。

請願の取扱い

議会に提出された請願は、内容により担当する委員会で慎重に審査され、本会議で採択・不採択を決定します。

採択されたものは、市長にその実現を要望したり、国や県、関係機関に意見書や要望書を提出したりします。

受付

- 提出場所 二本松市役所議会事務局(市役所5階)
- 受付締切 定例会開会日の概ね5日前の午後5時まで
(※請願は3月、6月、9月、12月の定例会で審査されます。締切日を過ぎた場合は、次回の定例会扱いとなります。)

注意事項

- ・ 邦文で記載してください。
- ・ 請願の場合、紹介議員の署名か記名押印が必要です。
- ・ 請願書には、請願の趣旨、提出年月日、請願者の住所・氏名を必ず記載し、請願者の押印が必要です。
- ・ 請願書は、1件の件名ごとに提出するようにしてください。
- ・ 土木事業関係などの請願の際には必ず見取図を添付してください。
- ・ 陳情については、議員の紹介は必要ありませんが、本市議会では、委員会審査は行わないのが通例となっています。その他については請願とほぼ同じです。

(表紙)	(内容)
請 願 書 (陳情書) ○○○○に関する請願書 紹介議員署名 (または記名押印)	件名 請願の趣旨 理由 平成 年 月 日 請願者住所 氏名 印 二本松市議会議長 様

* 不明な点は、議会事務局へお問い合わせください。
(電話0243-55-5144(議事係))

議会 豆知識

委員会

■ 常任委員会

議案などを専門的、合理的、能率的に審査するため、部門別に常設の委員会を設けています。

現在、二本松市議会には、総務、市民産業、建設水道、文教福祉の4つの常任委員会があり、本会議で付託された議案や請願を詳細に審査し、委員会の審査の結果を本会議で報告します。

委員会名称	定数	所管事項
総務常任委員会	7人	議会、総務部、会計課、監査委員、選挙管理委員会などの所管に属する事項
市民産業常任委員会	7人	市民部、産業部、農業委員会などの所管に属する事項
建設水道常任委員会	6人	建設部及び上下水道部の所管に属する事項
文教福祉常任委員会	6人	福祉部、福祉事務所及び教育委員会の所管に属する事項

■ 議会運営委員会

円滑な議会運営を行うために議会運営委員会が設置されています。

委員会名称	定数	所管事項
議会運営委員会	8人	(1)議会の運営に関する事項 (2)議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 (3)議長の諮問に関する事項

■ 特別委員会

特定事件を審査するために特別委員会を設置することができます。